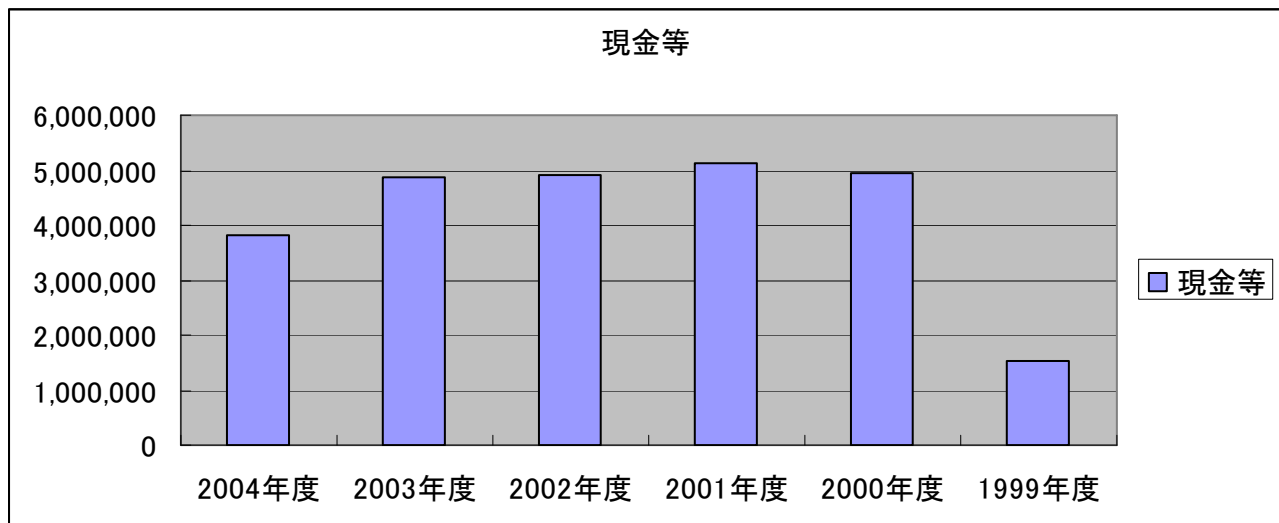


手元資金の分析に関して

1. 審議会資料

審議会資料では真の赤字は106万ドル（あるいは83万ドル）で、大変な事態であるとの説明でした。もしそれが正しければ確かに早急な決断が必要です。

	2004年度	2003年度	2002年度	2001年度	2000年度	1999年度
現金等	3,821,326	4,882,227	4,900,219	5,121,299	4,940,514	1,528,996
増減	-1,060,901	-17,992	-221,080	180,785	3,411,518	

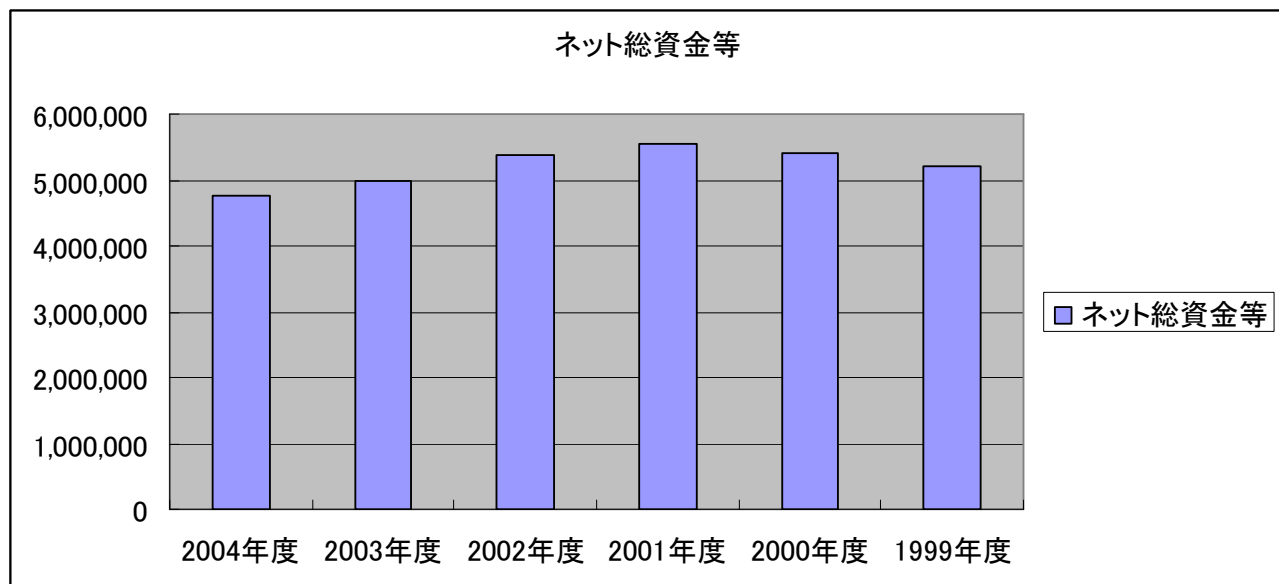


2. 2004年度の特異要因

2004年度はいつもの年に比べて、確実に帰ってくる未収金が異常に多い年でした。ですから、2004年度末の現金の異常な減りの大半の理由はここにあります。

何故か会計会社が期末資金の取り扱いを変えたために、混乱が生じています。この分を差し引いた手元資金を計算しました。

	2004年度	2003年度	2002年度	2001年度	2000年度	1999年度
現金等	3821326	4882227	4900219	5121299	4940514	1528996
定期預金	647038	647038	647038	652498	736208	3861475
受領可能補助金	<u>381093</u>	101345	89205	51422	35700	13800
受領可能金	<u>450457</u>	80280	155384	160940	186150	233866
その他	113485	130468	75608	108817	64057	64653
総現金等	5,413,399	5,841,358	5,867,454	6,094,976	5,962,629	5,702,790
Accounts payable	338305	374476	99691	256137	180435	191438
Bank Overdraft	5317	20944				
Advance Receipt	308020	462702	380376	290623	363792	306823
Total	651642	858122	480067	546760	544227	498261
ネット総資金等	4,761,757	4,983,236	5,387,387	5,548,216	5,418,402	5,204,529
増減	-221479	-404151	-160829	129814	213873	
Accounts payable	338305	374476	99691	256137	180435	191438
Bank Overdraft	5317	20944				
Advance Receipt	308020	462702	380376	290623	363792	306823
Total	651642	858122	480067	546760	544227	498261



4. 結論

現在生徒数は減少傾向に歯止めがかかり、増加に転じています。予断は許さないものの現金の減少にも歯止めがかかる事が期待できます。

上記のグラフで推察して頂きたいのですが、手元現金が危険水域（200万ドル）まで落ち込む事は近い将来にはないと思って頂いて結構だと思います。

5. 国からの補助金がなくなる効果

審議会側は、2008年度から国からの補助金61万ドルがなくなると大変な事になるとの説明をしていますが、これは勘違いだと思われます。

補助金収入 61万ドル

利払い 14万ドル

元本支払い 47万ドル

差し引き 0万ドル。

よって、補助金がなくなることはキャッシュ・フローには何の影響もありません。

6. 審議会が言っていることが本当に起こっていたらどうなっているか

審議会の主張は、P/L上の赤字に補助金効果が加わって、その分で現金がどんどん減っていくとのことです。そんなことは起こりえないのですが、仮にそうだとするとどうなっていたか検証してみます。

	2004年実績 値	2004年 度	2003年 度	2002年 度	2001年 度	2000年 度	1999年 度
P/L収支		-359	-173	-58	451	205	-8,894
補助金効果		-471	-437	-420	-368	-344	-318
実態収支		-830	-610	-478	83	-139	-9,212
現金残(推 計)	4,742	3,231	4,061	4,671	5,149	5,066	5,205

1999年度に大きな減損処理をしているので、その前までさかのぼれませんでした。1999年度末の資金から、審議会の言っている事態が生じるとすると、2004年度末

までに現金が200万ドル減ることになりますが、実態は50万ドル弱の減りです。推測ですが、もっと前までさかのぼればきっと手持ち現金が現在でも100万ドル台になって、底をつく推計になるのではと思います。

将来シミュレーションでも同じような間違いがあるのかもしれない。

